

5年生、体験いっぱい宿泊学習

5年生が、10月21日から二日間の宿泊学習を福井市少年自然の家にて行いました。心配された雨も上がり、1日目は爽やかな秋の空気が漂う一乗谷朝倉氏遺跡周辺での「朝倉たんさく隊」からスタートです。

12のグループごとにポイントに置かれた問題を解きながらゴールの少年自然の家を目指します。復元街並を見学した後、発掘された朝倉氏館跡や下城戸を巡りました。一旦、西山光照寺跡で集合し、山越えしてゴールにたどり着きました。

午後の活動は、「焼き杉」作りです。長い杉の板を適当な長さに切り、火で焦げ目を付けます。焦げた杉板をたわしで磨いていくと、杉の年輪や節目がきれいな模様に浮き出てきました。最後は、ペンキで文字を書きます。「〇〇の部屋」などと書いて、オリジナルのプレートが完成しました。

夕食の後、キャンドルサービスを行いました。1部と3部では、厳粛な雰囲気の中、営火長と火の神を迎え、キャンドルの灯を一人一人に分火しました。代表児童は、「このキャンドルのように明るく勇気を持ち努力することをちかいます」「みんなと仲を深めることをちかいます」と誓いの言葉を発表しました。2部では「昆虫採集」などのゲームを楽しみました。とても盛り上がり、笑い声や手拍子、かけ声が会場の体育館に響いていました。

二日目の「ネイチャースプーン」作りでは、間伐材を活かしたオリジナルのスプーンを作りました。枝の皮をそぎ落とし磨くと、表面がスベスベした立派なスプーンが完成しました。最後の活動は、「カレーライス」作りです。班ごとに、かまどとごはん、カレーの三つに分かれて作ります。火の付け方や水の分量などを所員の方に教えていただきながら、どの班もおいしいカレーライスが出来上がりました。

みんなで取り組むから生まれる感動や楽しさを、たくさん経験できた二日間でした。



復元街並をスタート



朝倉たんさく隊のゴール



焼き杉作り



盛り上がったキャンドルサービス



カレーライス作り